

# 華陽診療所開設50周年記念感謝祭

華陽診療所事務長 松田 英史



として岐阜大学地域科学部の富樫幸一教授(学部長)から「ブラトガシ加納駅」と題した古き地元地理周辺の話を聴きました。準備した1000席は満席で、興味深い内容だったと後で何人も

10月26日(土)華陽診療所50周年感謝祭を開催しました。前日の大雨の中に吊り下げた特大の坊主のおかげか、朝から秋らしい良いお天気になりました。午前中は、50周年企画として講演会を行い、まず粕谷志郎所長から「華陽診療所NOW」の現在を語っていただき、次に特別記念講演

の感想が聞かれました。午後からの催しは、外部特設ステージから孫六太鼓の勇壮な音が始まりました。ひまわり共同保育所の園児たちの踊り、朝鮮学校の学生さんたちの民族舞踊、ステージいっぱい一糸懸命踊る可愛い子ども達の姿に感動して、観客席では涙ぐんで見る人もいました。



また、職員たちによる華陽診50年にわたる歴代の所長達のコミカルな診療風景の寸劇には、観客たちはみんな手をたたき大笑いしながら懐かしんでいました。そして、最後には、今年50年というので駆け付けて



来てくれた当時の元看護師さん二人も壇上に上がり、創成期の診療所の思い出や地域の健友会の人達との交流など語ってくれました。



今年は節目の年にふさわしく、例年以上にまつり気分では盛り上がり、参加したごなたも充実した1日になったと思います。この先の時代も、みんなで培ってきた診療所をどう繋いでいけるか、困難はあっても職員、地域、患者さんの皆さんと共に頑張っていきたい



と思います。今後ともよろしくお願い致します。

# 民医連全国青年ジャンボリーを岐阜で開催しました!

4つの分科会

- ①精神科医療の現場から孤立に抗い排除しない地域・社会作り(講師 ささしまサポートセンター 橋本恵一さん)
  - ②日本での外国人労働者の実態 講師 愛知県労働組合 総連合顧問 樽松佐一さん
  - ③高齢者お出かけサポート訓練 岩原田鶴子さん
  - ④学習支援こもれば 只限康弘さん
- (実行委員長 大塚健太郎)

民医連全国青年ジャンボリー(以下、JB)は、民医連で働く全国の若手職員が同世代とのつながりを大切にしなが、学び交流し、民医連活動の担い手として成長する貴重な取り組みです。第38回目を迎える全国JBは、初開催地となる岐阜で2019年10月27、29日に「結び」人、人と、現在と未来をつなぐ、清流の国ぎふ こやあ」をテーマに開きました。

当日は全国から約600人の若手職員が参加し、約50の班に分かれて交流会やフィールドワークなど盛りだくさんの3日間となりました。各班で参加者同士仲良くなり、憲法や民医連の取り組みをテーマにしたグループディスカッションも盛り上がり、一言でいうと大成功でした!初日の岐阜市文化センターでの開会式では「憲法のないう世界」を舞台として実行委員会で作成した映像を流し憲法9条、13条、25条について学びました。進行役の2人のおかげあいも楽しく、和やかな雰囲気です。初めての参加者にもわかりやすいものでした。2日目の記念講演では、弁護士白神優理子さんに「日本国憲法は希望19条改憲案の前身・狙い」と題して憲法の歴史、米軍と一体化した自衛隊の実態について話していただきました。現実を突きつけられ、感情的にも胸に迫ってくる内容で会場全体が白神さんに引き込まれた雰囲気の話となりしました。

JB成功を支えたのは岐阜民医連全体でのサポートでした。岐阜の現



## 地域連携よろず相談室

**知って得する 介護保険制度**

みどり病院地域連携よろず相談室は看護師1名、医療福祉相談員2名、生活相談員1名が、入退院の調整に関する事、介護保険や障害年金といった社会保障に関する事を始めとして、地域の方のさまざまな相談対応をしています。解決に向けて一緒に考え、利用できる社会保障制度の案内や手続きのお手伝いをし、必要に応じて他の専門機関につないでいます。相談室で力を入れている取り組みの一つとして、25年前から健康まつりに合わせ毎年改定している「知っておいて得する社会保障制度」の冊子発行があります。医療や介護、福祉について分かりやすく解説しています。患者、家族の方はもちろん、職員、他事業所(地域包括支援センターや近隣の病院や施設)からも好評をいただいています。ご希望の方にはみどり病院・すこやか診療所・こがねだ診療所・華陽診療所・友の会でお渡しします。今ある社会保障制度を最大限



利用するために、ご利用いただければと思います。ご相談がありましたらよろず相談室まで。(みどり病院 医療相談員)